

牛乳パックで環をつなぐ

牛乳パックをレンズに
社会や暮らしのあり方を考えたい。

牛乳パックを通じて
出会う人々とのつながりを大切にしたい。

市民グループ、行政、企業、
教育、福祉関係者など、
ジャンルも地域も越えた
新しいネットワークの中で、
広範な活動をしているのが
全国牛乳パックの再利用を考える連絡会です。

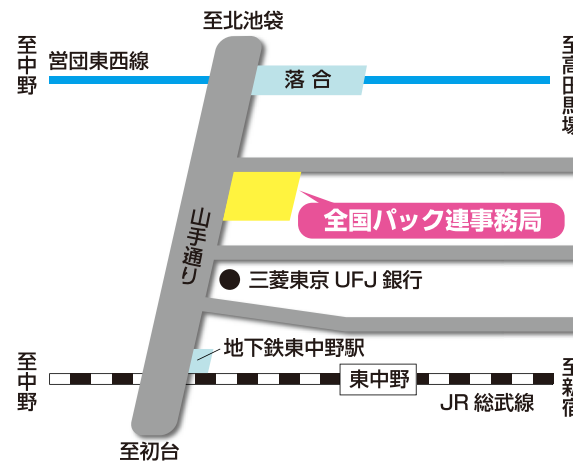
牛乳パックリサイクルのしくみ

上質なパルプを使用している牛乳パックは、
とても身近な大切な資源。トイレットペーパーやティッシュペーパー、
パッケージなどに姿を変えて私たちの暮らしを支えています



全国牛乳パックの再利用を考える連絡会

事務局 〒164-0003 東京都中野区東中野 4-6-7
東中野パレスマンション 201
TEL : 03-3360-1098 FAX:03-3360-7090
Email : packren@circus.ocn.ne.jp
<http://www.packren.org>



この冊子は、牛乳等紙パックの
再生紙を使用しています。 写真・文章の無断掲載・引用は固くお断りします。

緑の地球を 子どもたちへ

全国牛乳パックの再利用を考える連絡会

JAPAN MILK CARTON RECYCLING ASSOCIATION

人と人、自然と人の共生をテーマに、全国各地で活動しています。

たかが牛乳パック、されど牛乳パック。

牛乳パックはワンウェイ容器として1960年代に普及しはじめました。でも一度きりで使い捨てたら「もったいない」1984年に始まった牛乳パック回収運動は、使い捨てて生活を見直し、ものの大切さを子ども達へ伝えたいと願う多くの市民に支えられ、全国に定着しました。牛乳パックを洗って、開いて、乾かして回収へ。小さな行為が、世界でも例のないリサイクルシステムを築きあげました。



全国パック連は、多彩な活動を通して、「いのち・暮らし・自然」を見つめていきます。

■牛乳パック再利用マークの普及



牛乳パック再利用マーク（パックマーク）は、回収された牛乳パックを原料としている製品につけられています。「再生品をつかってこそリサイクル！」グリーン購入の目印として1992年に制定しました。約20社の製紙及び加工メーカーの製品に表示されているほか、教科書や環境副読本など、400種類の印刷物に紹介されています。

■広報・啓発活動



牛乳パック110番を設置し、全国からのさまざまな問い合わせや、資料請求に対応し日常的に情報提供を行っています。また、小学校への出前授業や各地講習会の実施、啓発冊子、ポスター、チラシ、DVDなどの企画制作を行い、牛乳パックリサイクルへの協力を呼びかけています。環境イベント等にも積極的に参加しています。

■福祉作業所支援



牛乳パックを再生した手すきはがきの製作や牛乳パック回収作業は、全国各地の福祉作業所の重要な仕事の一つとなっています。全国パック連では、手すきはがきを中心とした福祉作業所の自主製品の販売支援を行っています。

■「環の縁結びフォーラム」の開催



牛乳パックの製造から、中身、回収、再生にかかわる人が出会い、学び、交流する場として、年1回フォーラムを開催。環境に配慮する人を増やしていくために、リサイクルに関する法制度や環境教育、国内外の環境対策など、毎回テーマを変え、さまざまな立場の方に参加いただいています。

■国際交流



市民主導という日本独自のスタイルで進展してきた牛乳パックリサイクル。アメリカ、ヨーロッパ、アジアにおいて、特徴あるシステムとして評価されています。全国パック連では、アジアにおける紙パックリサイクル調査や、日韓情報交流会を実施するなど、グローバルな視点で情報の受発信を行っています。

入会のご案内

- 個人(個人・グループ) 年会費 3,000円
- 個人賛助会員 年会費 10,000円
- 賛助会員(企業・団体) 年会費 30,000円

- 「パック連通信」などをお送りします。
- セミナー、紙すき講座、いろいろな催しのご案内を差し上げます。
- その他、啓発ツール、各種調査報告の提供、再生品紹介など。

牛乳パック110番  0120-89-4704

牛乳パックリサイクルに関するあらゆる質問やお問い合わせをお待ちしております。